



**PROJECT-  
With the Earth**

この冊子の印刷・製本に係るCO<sub>2</sub>は  
PROJECT- With the Earth を  
通じてオフセット(相殺)しています。



この印刷物は、環境に配慮し、適切に管理された森林資源  
を用紙の材料とし、VOC(揮発性有機化合物)の発生が少  
ないベジタブルインクを使用しています。

MISAWA



# 第15期 株主通信

平成29年度 事業のご報告(中間)  
平成29年4月1日から平成29年9月30日まで

証券コード 1722

ミサワホーム株式会社



### 表紙の写真

本年4月に発売した創立50周年記念商品「CENTURY Primore」より。ゆとりあるシューズクロークが玄関廻りをいつでもすっきりと心地よい空間に保ちます。



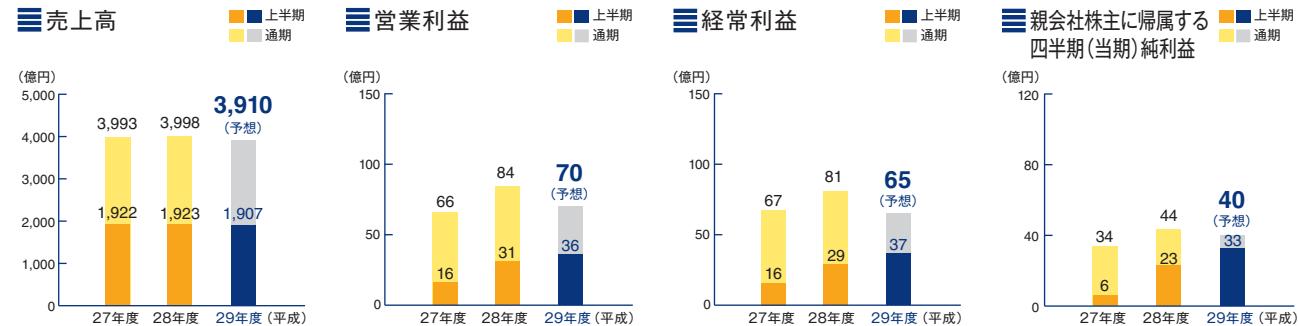
## コーポレートスローガン

私たちミサワホームグループは「住まいを通じて生涯のおつきあい」という精神のもと、良質の「住まい」を提供し、豊かな社会づくりに貢献します。

## 経営理念

- 安全・快適で環境を重視した家づくり、街づくりを行います。
- 法令を遵守し、倫理を重んじて誠実に行動します。
- 地球全体を視野に入れ、環境保全活動などを行い、社会に貢献します。
- 企業価値の向上に努め、長期安定的な成長により、ステークホルダーとの共存共栄を実現します。
- グループ社員が相互に信頼し、協力し合って能力を発揮できる職場をつくります。
- 適正な財務報告・情報開示と適切なリスク管理を行います。

## 財務ハイライト



## ごあいさつ

株主の皆様には、日頃から格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

私どもミサワホームは本年10月1日に創立50周年を迎えました。これもひとえに株主の皆様のご支援の賜物と心より感謝申し上げます。

こうした節目の年に、竹中宣雄前社長(現・取締役会長)の後任として6月29日付で代表取締役社長執行役員に就任いたしました。以来5ヵ月、平成30年3月期も上半期が終わり改めて責任の重さに身の引き締まる思いであります。皆様のご期待に沿えるよう全力を尽くしてまいりますので、前社長同様のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

さて、ミサワホームの50年間を支えてきたものに「木質パネル接着工法」をはじめとする独自の発想と、業界初、日本初、世界初を目指した先進的な技術・商品開発力があります。そして、そこには常に時代を切り拓く企業でありたいというパイオニア精神と、住まいを通して豊かな暮らしを実現したいという強い思いがありました。こうした革新を生み出してきたDNAを、変わるのではないものとして継承していかなくてはならないと考えております。

これからの世の中は少子高齢化によりますます人口が減少するなど、社会構造が変化し、AI(人工知能)やIoTなどの導入により生活スタイルも大きく変化していくと予想されます。そうした未来においても、ミサワホームはパイオニア精神を失わず、「変わらない」ために時代の変化に対応して「変わり続けて」まいります。そして、住宅メーカーという枠を超えて、新しい商品はもちろん、新しい事業やサービスの提供ができるような生活をデザインする企業を目指してまいります。

今年度より新中期経営計画「First Step For NEXT50」がスタートし、次の50年に向けての第一歩を踏み出しました。当社グループは、本計画に基づく3ヵ年の取組みを通じて2019年度の連結売上高4,450億円を目指します。その初年度上半期の業績は、売上高は前年同期を下回りましたが、原価改善等が進んだことにより経常利益は前年同期を上回り、減収増益となりました。下半期は創立50周年の記念イベント・キャンペーンをはじめとする様々な施策を実施してまいります。当社グループは、本計画の達成に向けこれら取組みを強化し、飛躍への足掛かりとなるような初年度にしてまいりたいと存じます。

株主の皆様には、引き続き一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成29年12月

代表取締役 社長執行役員

磯貝 匡志

ミサワホームは、1967年の創立以来、住宅業界のパイオニアとして日本の住まいづくり、工業化住宅の歴史とともに歩んできました。

1976  
企画住宅の原点  
「ミサワホームO型」を発売、  
ベストセラーに



1981  
「ハウス55計画」に基づき  
開発した鉄骨系住宅第1号商品  
「ミサワホーム55」を発売



1996  
大収納空間付住宅  
「蔵のある家」を発売



- 1962 「木質パネル接着工法」が**業界初**の建築基準法第38条認定を取得し、営業開始
- 1966 **業界初**の完全保証制度を開始
- 1967 **旧ミサワホーム株式会社を設立**  
第9次南極観測隊の「居住棟」「ヘリコプター格納庫」の部材製作を担当、第10次より継続発注を受ける
- 1969 100万円住宅「ホームコア」を発売
- 1970 大阪万博に未来住宅「ヘリコ」を出展  
※大型パネルによるボックス8戸をカプセル化して取り付けた未来志向の住宅
- 1971 **東証第2部上場**
- 1972 **業界に先駆けて「AM(アフターサービスメンテナンス)体制」を発足、制度化  
大証第2部上場**
- 1973 **業界初**の独立研究機関・株式会社ミサワホーム総合研究所を設立
- 1976 国家プロジェクト「ハウス55計画」提案競技に応募し、入選
- 1978 **日本初**のホーム・オートメーション住宅「ミサワホームG型」を東京国際GLショーに出展  
※今日のスマートハウスやHEMSの走りともいえる数々のホーム・オートメーション機能を満載した住宅
- 1981 **業界初**の長期保証制度(構造体10年保証)を実施  
**東証・大証第1部に指定替え**
- 1982 リフォーム専門のホームイング株式会社を設立
- 1985 「センチュリーA8」が、建設省「CHS(センチュリー・ハウジング・システム)認定」第1号を取得
- 1989 最先端の住まい「NEAT INNOVATOR」が、世界デザイン博協賛・インテリアフェアで内閣総理大臣賞を受賞
- 1990 高級引違いサッシなどで「グッドデザイン賞」を初受賞
- 1991 「GOMAS」が工業化住宅として初のグッドデザイン賞を受賞
- 1993 再生木材として新素材「M-Wood」を商品化  
介護付有料老人ホーム「マザアス南柏」を開設
- 1994 ミサワホームズ オブ フィンランド株式会社を設立  
※翌年には計画植林・伐採を行う製材工場を建設
- 1995 (財)ベターリビングの「CHSシステム認定」を基本とした「100年住宅」を開発
- 1996 技術のショールーム「MIFパーク」を開設 ※2006年に「ミサワパーク東京」としてリニューアル  
「GENIUS蔵のある家」が工業化住宅として初のグッドデザイン賞グランプリを受賞



1998  
**世界初**ゼロ・エネルギー住宅  
「HYBRID-Z」を発売



2016  
**重量鉄骨造の中層住宅**  
「URBANCENTURY」を発売



- 1997 消費者志向優良企業として**業界初**の通商産業大臣賞を受賞  
リサイクルした素材とリサイクルできる素材だけで構成した**世界初**の「100%リサイクル住宅」完成
- 1998 100%リサイクルのエクステリア新素材「M-Wood2」を開発
- 1999 **業界初**の地球環境大賞を受賞
- 2002 **名証第1部上場**
- 2003 **ミサワホームホールディングス株式会社設立  
東証・大証・名証第1部上場**
- 2004 制震装置「MGE0」を発売、以後リフォーム用などにも展開
- 2005 愛知万博のグローバルループなどに「M-Wood2」が採用される  
**トヨタ自動車株式会社他2社と資本提携**
- 2006 住まいのテーマパーク「ミサワパーク東京」開設、以後全国展開
- 2007 「GENIUS Link-Age with kids」など3点が第1回キッズデザイン賞を受賞、以後11年連続で受賞  
創立40周年を機にミサワホームホールディングスとミサワホームが合併  
**ミサワホーム株式会社に商号変更**
- 2008 インターネットによる住宅販売サイト  
「MISAWA WEB DIRECT」を開発
- 2009 「SMART STYLE ZERO」が**業界初**のゼロCO<sub>2</sub>認定を取得  
住宅循環システム「住まいるりんぐシステム」をブランド展開
- 2010 木質系、鉄骨系住宅を対象とした業界最長レベル30年保証の運用開始  
ライフサイクルCO<sub>2</sub>マイナス住宅「ECO Flagship Model」完成
- 2012 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>マイナス住宅 亀山モデル」が最高ランクのLCCM  
住宅認定を取得
- 2013 大規模木造建築物を実現する新構法「FWS(フューチャーウッドシステム)」を開発  
再生可能エネルギー事業として国内4拠点で「太陽光発電設備」が稼動
- 2015 ミサワフィナンシャルサービス株式会社を設立して住宅金融サービス事業を開始  
防災・減災ソリューション「MISAWA-LCP®」を提案  
※LCP:Life Continuity Performanceの略で災害時及び災害後の生活を安心して継続するための考え方  
家のIoTを実現する被災度判定計「GAINET」を発売  
お客様の様々なご相談をワンストップで受け付ける「住まいるりんぐDesk」を開発  
首都圏ディーラーを直販化するなど構造改革を推進
- 2016 東海圏ディーラーを直販化し、中部エリアの体制を強化  
小売電気事業者としてオーナー様を対象に「ミサワでんき」の提供を開始  
**トヨタホーム株式会社と業務資本提携を締結**
- 2017 **業界初**の「玄関一体宅配ボックス」を開発・発売  
家庭内エネルギーの最適制御、見守りなどのIoTを活用したライフサービス「Link Gates」を発売  
新構法「センチュリーモノコック」を開発し、大開口設計でZEH基準を上回る断熱性能を実現



# 新中期経営計画の取組み

当社グループは、本年4月から2019年度を最終年度とする新中期経営計画「First Step For NEXT50」をスタートさせ、次の50年に向けて新たな一步を踏み出しました。様々な施策に取り組み、着実に「事業の多角化」を推進しています。

## 新中期経営計画 「First Step For NEXT50」

対象期間	2017年度～2019年度の3カ年	基本方針 「戸建住宅事業」の規模を維持しつつ、賃貸住宅を中心とした「資産活用事業」や「リフォーム事業」の既存事業を拡大し、新たな「まちづくり事業」や「海外事業」において積極的投資を行い、2019年度の連結売上高4,450億円を目指します。
位置づけ	次の50年に向けて持続的に成長し、企業価値をさらに高めるための第一歩を踏み出す3カ年と位置づけています。	
経営戦略	<ul style="list-style-type: none"> <li>● トヨタホームとのシナジーの最大化</li> <li>● ミサワホームのDNA継承とブランド力の維持・向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 財務基盤の強化</li> <li>● 働き方改革による従業員満足度(ES)の向上</li> </ul>

事業別戦略	戸建住宅事業	リフォーム事業	まちづくり事業	海外事業	その他事業
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● [注文住宅] 中・高価格帯商品の強化 ・ZEH、IoTなどの提案を盛り込んだ付加価値の高い住宅の開発 ・建替え、多世帯住宅を軸とした商品ラインアップの充実</li> <li>● [分譲住宅] 商品力を高めて積極展開 ・耐震木造住宅「MJ Wood」や分譲商品の企画化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● [住宅向け] 中・大型リフォームの強化</li> <li>● [非住宅] 建築再生手法「リファイニング」への取組み強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● オフィスビル、マンション等の開発に積極投資</li> <li>● 医療・介護・子育て支援を中心とした複合開発やコンパクトシティ型不動産開発の積極展開</li> <li>● 既存住宅団地再生やモビリティ連携の未来志向まちづくりの実現</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● オーストラリアを中心に海外展開を本格化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 介護福祉施設の運営</li> <li>● 学童保育・放課後等デイサービスなどの子育て支援事業への取組み</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 賃貸住宅のシェア拡大 ・建替え層をメインターゲットとした中層耐火住宅の販売強化 ・商品ラインアップの拡充</li> <li>● 木質パネル工法や鉄骨ユニット工法を活用した非住宅・大規模建築の受注拡大</li> </ul>				

事業セグメント	計数計画 (億円)		
	2016年度実績	2019年度計画	2016年度比
売上高	3,998	4,450	11%
戸建住宅事業	2,346	2,270	△3%
資産活用事業	510	531	4%
リフォーム事業	623	700	12%
まちづくり事業	373	638	71%
海外事業	0	100	—
その他事業	144	211	47%
営業利益	84	120	43%
経常利益	81	115	42%

※2016年度のセグメント別売上は精査の結果、既発表の数値より変動しています。

定量目標 <2019年度>

連結売上高	4,450億円
連結営業利益	120億円
連結経常利益	115億円
コストダウン (3年間で)	75億円
自己資本比率	24%

新中期経営計画から事業セグメントが変わりました。主な事業内容は次のとおりです。

戸建住宅事業	注文住宅、分譲住宅(土地売上含む)
資産活用事業	賃貸住宅、特建
リフォーム事業	戸建住宅リフォーム、建築物のリノベーション 他
まちづくり事業	コンパクトシティ型不動産開発、マンション、賃貸管理、既存住宅仲介、買取再生販売 他
海外事業	オーストラリアを中心とした海外での売上
その他事業	介護施設運営、建材販売、物流 他

### 1 秋田市で取り組むCCRC※1拠点整備事業が本格的にスタート

本年4月、当社は、株式会社北都銀行、秋田不動産サービス株式会社及び秋田信用金庫(いずれも秋田県秋田市)とともに、秋田市中通におけるCCRC拠点整備事業に向けて連携協定を締結し、事業が本格的にスタートしました。当社はこの事業の総合企画を担っています。JR秋田駅近くの中心市街地に駅前ランドマークにふさわしい拠点施設を建設し、住宅や金融機関、医療・保育施設など複数の機能を盛り込むほか、地域の介護施設などと連携を図り、秋田版CCRCの実現を目指します。



※1 Continuing Care Retirement Communityの略。高齢者が元気なうちに地方に移住し、必要な時に医療と介護のケアを受けて住み続けられるコミュニティのこと

建物完成イメージ

### 2 築36年の旧耐震基準の建物を「リファイニング建築※2」により再生

当社は、「リファイニング建築」を提唱する株式会社青木茂建築工房(東京都渋谷区)と業務提携し、非住宅を中心に既存建物の耐震性や耐用年数を大幅に向上させるリファイニング建築に取り組んでいます。本年6月には、青木茂建築工房との共同プロジェクト第二弾として、築36年の専門学校を賃貸マンションに用途変更する工事に着手しました。当社は今後も、この建物再生手法により不動産を安全で質の高い資産に再生するとともに、不動産の新たな魅力を創出して収益物件として保有していく取組みを積極的に展開していきます。

※2 リファイニング建築は、一般的なリフォームやリノベーションとは異なり、内外装や設備類、間取りなどの変更のみならず建物自体の耐震性や耐用年数を大幅に向上させて長寿命化を図る手法です。



既存建物



完成予想図

### 3 まちづくり事業で展開していく3つのブランドを公表

当社は、自社で開発し保有する複合商業施設や賃貸住宅などを対象に「明日」や「未来」をイメージさせる「AS(アス)」の文字を使用した3つのブランドを新設しました。「明日を楽しく、明日を元気に」の思いを込め、地域に貢献するまちづくりの一層の訴求を図ります。



ブランド名(アスマチ)とロゴの由来

シンボルマークは「明日」の漢字「明」を四角形の組み合わせでデザインしました。グリーンは地域を、赤は希望や賑わいを、ブルーは健康や癒やしをイメージし、四角の集合で複数の機能が連携することや、多世代交流、地域と住民が集い寄り添っていることを表現しています。

#### ASMACI MAISON

(アスマチ メゾン)  
複合施設の中にある賃貸住宅に使用します。



「ASMACI 浦安(仮称)」の使用例

「ASPRIME(アスプライム)」は、ミサワホームが保有する賃貸住宅に使用します。

Topics 1 JAXA\*の研究提案募集に採択

当社はJAXAの「宇宙探査イノベーションハブ」が実施した研究提案募集に応募し、研究課題「拠点建造物の建築・拡張・維持の省力化」に採択されました。「南極昭和基地」で磨かれた工業化技術や、省エネルギー住宅に関する研究開発の知見が生きるものとして、「建築を省力化する工法技術」と「自律循環システム」の開発による持続可能な新たな住宅システムの構築を目指し、JAXAとの共同研究を始めます。今後も、未来を見据えた技術開発、夢のある住まいづくりに取り組むとともに、日本の宇宙開発の発展に貢献していきます。



\*国立研究開発法人 宇宙航空研究開発機構の英称の略

Topics 2 28年連続  
グッドデザイン賞  
受賞



木質系工業化住宅商品「<sup>センチュリー プリモア</sup>CENTURY Primore」、木質パネルの新構法「センチュリーモノコック」、都市部の中層住宅市場向け重量鉄骨造商品「<sup>アーバンセンチュリー</sup>URBANCENTURY」など計6点が受賞しました。これにより、1990年の初受賞以降、住宅業界唯一の28年連続受賞となり通算受賞点数は146点となりました。この受賞実績に裏付けられたデザイン力を積極的に訴求するとともに、優れた商品やサービスを開発し、「安全・安心・快適」な住まいを提供していきます。



センチュリーモノコック



URBANCENTURY

Topics 3 第11回 キッズデザイン賞  
マミーズプロジェクトが  
「男女共同参画担当大臣賞」受賞



仕事と家庭の両立を目指したママ社員の新たな活躍の場「マミーズプロジェクト」が、キッズデザイン賞の上位賞となる「男女共同参画担当大臣賞」を受賞しました。全受賞作品298点から1点にのみ授与される賞です。このほか、子育て中の共働き夫婦を応援する木質系工業化住宅商品「<sup>ファミリンク ゼロ</sup>Familink ZERO」など計5点が受賞しました。第1回から11年連続での受賞となり、通算受賞点数は46点となりました。



「男女共同参画担当大臣賞」受賞



Familink ZERO

# 日本の南極観測を支えるミサワホーム

当社は、1968年の「第10居住棟」以来、日本南極地域観測隊の活動や生活を支える建物を受注し、その実績は2018年完成予定の「基本観測棟」を含めて累計36棟、延床面積5,900㎡になりました。当社の「木質パネル工法」による建物は、断熱性・気密性が高く、耐風・耐震性にも優れた強固な建物で、建築経験のない隊員でも短工期で施工できることが特長です。自然災害の多い日本の暮らしにより大きな安心をお届けするために、当社はこれからも極地で培った先進の技術を日本の住まいづくりに生かしていきます。

## CENTURY MONOCOQUE

新構法「センチュリーモノコック」  
木質パネルの厚みを変更し、接合部を強化した高耐力・高断熱仕様の構法です。極地で培った先進の技術で、業界最高水準の建物性能を実現しています。



当社が受注した主な建物です。



1968  
初の直接受注  
「第10居住棟」



1990・1991  
昭和基地のシンボル  
「管理棟」



1996・1997  
快適な宿舎  
「第1・第2居住棟」



2002  
南極衛星中継の拠点  
「スタジオ放送棟」



2010  
昭和基地最大級  
「自然エネルギー棟」



2018 (完成予定)  
最新の南極建物  
「基本観測棟」

GOOD DESIGN AWARD 2011



# CONSOLIDATED FINANCIAL STATEMENTS

連結財務諸表(要旨)

## 連結貸借対照表

(単位:百万円)

科 目	当上半期 平成29年9月30日現在	前 期 平成29年9月31日現在
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>	<b>159,407</b>	<b>167,717</b>
<b>固定資産</b>	<b>82,803</b>	<b>79,352</b>
有形固定資産	59,768	56,104
無形固定資産	8,782	9,065
投資その他の資産	14,252	14,182
<b>資産合計</b>	<b>242,210</b>	<b>247,069</b>
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>	<b>134,921</b>	<b>138,733</b>
<b>固定負債</b>	<b>52,722</b>	<b>56,026</b>
<b>負債合計</b>	<b>187,643</b>	<b>194,759</b>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>	<b>51,654</b>	<b>49,433</b>
資本金	11,892	11,892
資本剰余金	2,877	2,877
利益剰余金	36,890	34,664
自己株式	△6	△0
<b>その他の包括利益累計額</b>	<b>497</b>	<b>405</b>
その他有価証券評価差額金	409	357
土地再評価差額金	△440	△440
為替換算調整勘定	58	△16
退職給付に係る調整累計額	470	504
<b>非支配株主持分</b>	<b>2,415</b>	<b>2,470</b>
<b>純資産合計</b>	<b>54,566</b>	<b>52,309</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>242,210</b>	<b>247,069</b>

### Point 1

#### 資産の部

前期末に比べ48億円減少し、2,422億円となりました。これは主に、現金及び預金、たな卸資産の減少によるものです。

### Point 2

#### 負債の部

前期末に比べ71億円減少し、1,876億円となりました。これは主に、仕入債務及び有利子負債の減少によるものです。

### Point 3

#### 純資産の部

前期末に比べ22億円増加し、545億円となりました。

### Point 4

#### 配当の状況

当上半期末の配当はございません。なお、当期末の配当金は、1株当たり20円を予定しております。

## 連結損益計算書

(単位:百万円)

科 目	当上半期 平成29年4月 1日から 平成29年9月30日まで	前上半期 平成28年4月 1日から 平成28年9月30日まで
<b>売上高</b>	<b>190,744</b>	<b>192,378</b>
売上原価	148,966	151,406
売上総利益	41,777	40,971
販売費及び一般管理費	38,094	37,865
<b>営業利益</b>	<b>3,683</b>	<b>3,105</b>
営業外収益	679	654
営業外費用	570	835
<b>経常利益</b>	<b>3,792</b>	<b>2,924</b>
特別利益	10	30
特別損失	45	234
<b>税金等調整前四半期純利益</b>	<b>3,756</b>	<b>2,720</b>
法人税、住民税及び事業税	526	456
法人税等調整額	△1	△56
<b>四半期純利益</b>	<b>3,231</b>	<b>2,320</b>
非支配株主に帰属する四半期純利益又は純損失(△)	△71	15
<b>親会社株主に帰属する四半期純利益</b>	<b>3,302</b>	<b>2,304</b>

### Point 5

#### 売上高

前上半期に比べ16億円減少し、1,907億円となりました。注文住宅や賃貸住宅の売上は増加したものの、分譲住宅(戸建・マンション)や大型施設の売上減少により、減収となりました。

### Point 6

#### 営業利益及び経常利益

営業利益は前上半期に比べ5億円増加し、36億円となりました。また経常利益は前上半期に比べ8億円増加し、37億円となりました。原価低減等の利益率改善効果によるものです。

### Point 7

#### 営業活動によるキャッシュ・フロー

仕入債務の減少があったものの、税金等調整前四半期純利益の計上及び未成工事受入金の増加等により、営業活動によるキャッシュ・フローは、46億円の収入となりました。

## 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科 目	当上半期 平成29年4月 1日から 平成29年9月30日まで	前上半期 平成28年4月 1日から 平成28年9月30日まで
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>4,629</b>	<b>2,488</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△6,775</b>	<b>△5,542</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△4,207</b>	<b>8,279</b>
<b>現金及び現金同等物に係る換算差額</b>	<b>39</b>	<b>△33</b>
<b>現金及び現金同等物の増減額(△は減少)</b>	<b>△6,313</b>	<b>5,192</b>
<b>現金及び現金同等物の期首残高</b>	<b>54,343</b>	<b>47,082</b>
<b>現金及び現金同等物の四半期末残高</b>	<b>48,030</b>	<b>52,274</b>



# 50th ANNIVERSARY PRODUCTS

創立50周年記念商品



日本で暮らす最上の歓びを、あなたへ。

## CENTURY Primore

本年4月、100年先の暮らしを見据え、ミサワホームの英知を結集した創立50周年記念商品「CENTURY Primore」を発売しました。新構法「センチュリーモノコック」の採用により、大開口設計としながらもZEH基準を大幅に上回る断熱性能を実現しています。また、重厚な外観、素材感と機能性を考慮したインテリアデザインを取り入れ、ヒートショック対策や室内空気質の改善など、住まい手の健康にも配慮しました。また、室内の熱中症リスクをお知らせする機能や、外出先からエアコンを遠隔操作する機能など、IoTを活用したリンクゲイツライフサービス「LinkGates」も搭載可能です。

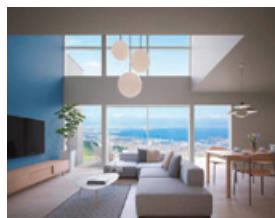


耐震木造住宅「MJ Wood」の

## 新シリーズ「MJ FRAME」を展開

本年10月、耐震木造住宅「MJ Wood」においても創立50周年を記念して新シリーズ「MJ FRAME」の第一弾モデルを発売しました。大開口・大空間と高耐震を両立する設計が可能な「MJ開口フレーム\*」を新たに採用し、吹き抜けと有効幅約5.3mの大開口で、開放感あふれる空間を実現しています。また、大開口設計としながらもZEH断熱基準に対応できる高断熱性能を標準仕様に設定しました。今後も「MJ FRAME」シリーズを積極的に展開し、多様なライフスタイルに向けた新たな提案型モデルを展開していきます。

\*J建築システム株式会社が開発した木造住宅の開口部を耐力壁にする「J-耐震開口フレーム」を使用したものです。



# INFORMATION

創立50周年記念株主優待制度のご案内

## 株主の皆様のご支援に感謝の気持ちを込めて、創立50周年記念株主優待を実施いたします。

対象となる株主様 ▶ 平成29年9月30日及び平成30年3月31日現在の株主名簿に登録された1単元(100株)以上保有されている株主様

### 記念株主優待の内容 ▶ ミサワホーム取扱店で利用可能な優待券の贈呈

住宅の購入時及びリフォーム時に一定の割引をしていますが、通常の株主優待からさらに1%プラスした割引になっています。ご利用の際は、本券を初回見積時までに担当営業にお渡しください。初回見積後は、お受けすることができませんのでご注意ください。

建物等区分		新割引率	利用条件（一部抜粋）
工業化住宅	戸建住宅	建物本体価格の4%	●ミサワホーム取扱店で利用可能 ●建物1棟又はリフォーム1回につき1枚利用可能 ●キャンペーンほか、他の割引制度との併用不可 ●譲渡可能 ●販売開始1年未満の建売分譲住宅は対象外
	賃貸住宅	建物本体価格の2%	
	分譲住宅	建物本体価格の4%	
在来木造住宅 (MJ Wood)	戸建住宅	工事請負価格の3%	
	賃貸住宅	工事請負価格の3%	
	分譲住宅	建物本体価格の3%	
リフォーム		工事代金の4%	●100万円以上の工事に限る

## 株主優待による社会貢献活動のご報告

株主優待として贈呈していました「クオカード\*」におきまして、株主様にご利用いただいた金額の一部を「平成29年7月5日からの大雨災害義援金」として寄附させていただきました。

\*クオカードの贈呈は、本年3月31日現在の当社株主名簿に登録された1単元(100株)以上保有の株主様への贈呈をもちまして廃止させていただきます。

寄附金額	1,763,096円
算出期間	平成28年4月1日～平成29年3月31日
寄附先	平成29年7月5日からの九州北部地方における大雨で被災された方々 (日本赤十字社経由)
選定理由	本年7月に発生した九州北部地方における断続的な大雨は、甚大な被害をもたらしました。現地では今もなお復旧・復興に向けて多くの力を必要としています。そうした状況を踏まえ、今回も被災地への復興支援として役立てたいと考え、義援金として寄附させていただくこととしました。義援金は、日本赤十字社を通じて被災状況に応じて按分され、各被災県に設置された義援金配分委員会を通じ、全額が被災された方々に届けられます。

詳細は当社ホームページに掲載

ミサワホーム株主優待

検索

[www.misawa.co.jp/corporate/irinfo/shareinfo/incentive.html](http://www.misawa.co.jp/corporate/irinfo/shareinfo/incentive.html)

### 会社の概要

商号 **ミサワホーム株式会社**  
 設立 平成15年8月1日  
 資本金 11,892,755,813円  
 従業員数 個別 2,577名 連結 8,947名

### 役員及び執行役員

#### ■取締役

取締役会長 竹中 宣雄  
 代表取締役社長執行役員 磯貝 匡志  
 代表取締役副社長執行役員 下村 秀樹  
 取締役専務執行役員 吉松 英之  
 取締役常務執行役員 横田 純夫  
 取締役常務執行役員 作尾 徹也  
 取締役常務執行役員 庄司 健吾  
 取締役 山科 忠  
 取締役 後藤 裕司  
 取締役 寺本 直樹  
 取締役 杉野 正博  
 取締役 岩城 正和

#### ■執行役員

常務執行役員 石川 幸彦  
 執行役員 森田 哲彦  
 執行役員 原 秀彦  
 執行役員 秋本 一善  
 執行役員 中村 孝  
 執行役員 柳谷 三郎  
 執行役員 白浜 一志  
 執行役員 細野 雅信  
 執行役員 在川 秀一  
 執行役員 南谷 和秀  
 執行役員 堤内 真一

#### ■監査役

常勤監査役 香川 隆裕  
 常勤監査役 長谷 博友  
 監査役 深津 浩彦  
 監査役 長崎 伸郎

\*取締役のうち、杉野正博、岩城正和の両氏は社外取締役であります。また、監査役 香川隆裕、長谷博友、長崎伸郎の各氏は社外監査役であります。

### 事業所

本社 〒163-0833 東京都新宿区西新宿二丁目4番1号 新宿NSビル  
 東京支社 〒104-0031 東京都中央区京橋一丁目1番1号  
 | 東京北支店 | 〒120-0034 東京都足立区千住一丁目4番1号  
 | 城南支店 | 〒140-0013 東京都品川区南大井六丁目25番3号  
 | 東京西支店 | 〒168-0072 東京都杉並区高井戸東二丁目4番5号  
 | 世田谷支店 | 〒156-0055 東京都世田谷区船橋一丁目37番4号  
 | 多摩支店 | 〒190-0023 東京都立川市柴崎町六丁目17番16号  
 神奈川支社 | 神奈川支店 | 〒244-0805 神奈川県横浜市戸塚区川上町90番地6  
 | 横浜北支店 | 〒224-0003 神奈川県横浜市都筑区中川中央一丁目35番4号  
 | 町田支店 | 〒194-0013 東京都町田市原町田五丁目8番18号  
 埼玉・群馬支社 | 埼玉支店 | 〒338-8510 埼玉県さいたま市中央区円阿弥七丁目7番8号  
 | 埼玉西支店 | 〒350-0041 埼玉県川越市六軒町二丁目19番地1  
 | 群馬支店 | 〒370-0001 群馬県高崎市中尾町17番地1  
 千葉・茨城支社 | 千葉支店 | 〒263-0051 千葉県千葉市稲毛区園生町388番地13  
 | 千葉西支店 | 〒273-0005 千葉県船橋市本町二丁目10番14号  
 | 茨城支店 | 〒310-0852 茨城県水戸市笠原町978番地38  
 愛知支社 〒460-0007 愛知県名古屋市中区新栄二丁目19番6号  
 岐阜名古屋北支社 〒500-8368 岐阜県岐阜市宇佐三丁目16番9号  
 三重支社 〒514-0004 三重県津市栄町二丁目310番地  
 和歌山支社 〒640-8155 和歌山県和歌山市九番丁15 九番丁MGビル  
 沖縄駐在事務所 〒901-2132 沖縄県浦添市伊祖一丁目33番1号  
 技能訓練センター 〒300-2724 茨城県常総市古間木1789番地4  
 関東資源循環センター 〒270-0217 千葉県野田市はやま1番地の5

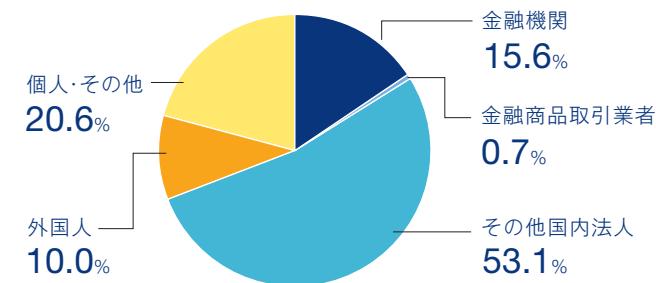
### 株式の状況

発行可能株式総数	150,000,000 株
発行済株式の総数	43,070,163 株 (自己株式 6,797 株)
株主総数	27,091名

### 大株主 (上位10名)

株主名	株式数 (千株)	持株比率 (%)
トヨタホーム株式会社	21,965	51.0
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	1,485	3.4
MG従業員持株会	857	1.9
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口9)	731	1.6
日本生命保険相互会社	609	1.4
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	581	1.3
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	571	1.3
株式会社三菱東京UFJ銀行	559	1.2
GOVERNMENT OF NORWAY	519	1.2
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口5)	491	1.1

### 所有者別持株構成



### 株主メモ

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社  
 特別口座の口座管理機関  
 同連絡先\* 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
 東京都府中市日鋼町1-1  
 0120-232-7111(通話料無料)  
 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号  
 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
 公告方法 電子公告  
 (当社ホームページ www.misawa.co.jp に掲載します。)  
 <株式業務窓口> ミサワホーム株式会社  
 総務人事部 総務課  
 TEL 03-3349-8070 FAX 03-5381-7835  
 (土・日、祝祭日を除く9時～18時)

\*株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関の事務拠点の移転に伴い、平成29年8月14日付にて上記のとおりに変更しています。

配当金のお受取りは、振込をお勧めします。  
 お手続の詳細は、口座をお持ちの証券会社にお問い合わせください。

ホームページのご案内

[www.misawa.co.jp](http://www.misawa.co.jp)

ミサワホーム 検索

当社ホームページでは、住まいに関する情報をはじめ、IR情報やCSR活動の報告など様々な情報を発信しています。是非一度アクセスしてください。

CSRレポート

当社グループのCSR活動や環境への取組みをまとめたCSRレポート「HEARTH」をPDFでご覧いただけます。

CSR報告書(パンフレット) → CSRレポートページ